

【様式①】令和7年度 学校評価書(小・中・義・特別支援)

学校名 岐阜市立梅林小学校

校長名 河合 清太

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	「うめっこぎふMIRAI's」を核に、梅林地区や岐阜市のことを理解するとともに、ふるさとを「愛する思い」を醸成する。 教育DXの推進を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して、主体的に問題解決する子を育成する。	B	梅林地区の様々な場所に出向き、「梅林地区が好き・もっと知りたい」と思えるような活動を仕組んだ。 英語の学習では、タブレット端末の音声機能を活用した個別支援を行ったり、スクランブルでの対話活動を仕組んだりするなど、主体的に学び進められる授業を工夫した。	「梅林地区が好き」といえる子が増えるよう、ぎふMIRAI'sの学習は、これからも積極的に取り組んでもらいたい。 英語の授業では、先生がテンポよく授業を進めていた。ALTの先生との英語のやり取りも多く、英語をたくさん聞いたり話したりできていると感じた。	総合的な学習の時間の計画を再度見直し、より梅林校区をフィールドとした活動になるようにバージョンアップしていく。 英語に対するの苦手意識が生まれないよう、どの子にとっても、楽しい英語の時間になるよう授業改善に努める。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	コミュニティ・スクールで「うめっこサポーターズクラブ」の支援を行いながら、地域や保護者と学校が協働し、子どもたちの活動の充実を図る。 「温かい学校づくり」「学び方」を軸に中学校区で連携して指導を行う。	A	保護者・地域・学校で子どもたちを支える「うめっこサポーターズクラブ」が発足した。「学習支援ボランティア」を中心に子どもたちの活動を支援している。 総合的な学習の時間の授業公開を行い、中学校区の先生方と学びあった。	地域も積極的に学校に関わっていきたい。発足した「うめっこサポーターズクラブ」にも協力していきたい。 小学校での学びが、中学校につながるよう小中で連携を図っていけるとよい。	これまでに築いてきた地域との太いパイプを大切にしながら、地域・家庭と学校がより一層協働していく。 中学校区で授業や子どもの姿を基に「学校づくり」や「授業づくり」について交流し、掌中の連携を深める。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	「自分もハッピー、みんなもハッピー」になるために、自分で考え判断し、行動できる子を育成する。 学校のあたりまえを見直し、子どもたちが主役になる授業を創造するとともに、職員の業務内容の改善を図る。	A	全校学活・全校道徳を行い、自分の考え方や行動について考える場を設定した。児童アンケートでは、学校は楽しい(88%)、誰にでもやさしくできる(90%)と回答。 授業のあたりまえを見直し、子どもたちが自分の言葉で語る授業づくりに取り組んだ。	子どもたちは学校生活や授業を楽しんでいる様子が伝わってくる。 遅い時刻まで職員室が明るいことがある。職員の働き方については、さらに改善されるとよいと思う。	人権教育、いじめの未然防止についてさらに取り組みを進め、よりあたたかな校風、笑顔あふれる学校をつくっていく。 指導方法や業務内容の見直しとともに、やりがいを感じて働くことができる職場づくりに努める。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	一人ひとりに寄り添い、安心して学びに向かえる環境を整える。	B	教育相談体制を充実させ、職員間で情報共有を徹底することで、安心して学べる環境づくりが進んだ。	不登校の児童が多いと感じる。安心して学校に通える体制づくりを今後も願っていたい。	関係職員の連携強化と教育相談の充実により、安心して登校できる環境づくりを進める。
災害、事故に対する安全性の確保	「自分の命は自分で守る」力を育めるように、地域と協働し、交通安全教室、命を守る訓練等に加え、「梅林地域防災訓練」に梅林中校区4校で一斉に取り組む。 「通学路安全対策ワークショップ」を活用し、地域全体で安全な登下校に向けた環境づくりを推進する。	A	「梅林地域防災訓練」を梅林中学校校区一斉に実施したことにより、児童及び保護者の防災に対する意識が向上した。 「交通安全対策ワークショップ」で、地域と一緒に校区内の危険箇所を確認し、安全な登下校のために必要なことが明確になった。	いつ起きるかわからない災害に対して、地域とともに訓練できたことはとてもよかった。 子どもたちの登下校の様子を見てみると、危ないと感じることも多い。地域でも見守るが、学校でも指導してほしい。	来年度も「梅林地域防災訓練」を行い、地域と協働して、子どもたちの防災意識を高める。 地域と連携しながら、安全に登下校できる環境を整える。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	学校施設の定期的な点検を行うとともに、地域からの声も大切にしながら適切な対応を迅速に行う。 適正な会計業務の執行と備品管理を行う。	B	適切に点検を実施し、安心安全な学校生活となるよう努めた。また、修繕が必要な箇所については、迅速に対応した。 備品を整理し、必要なものについて計画的に整備した。	空調設備など、昔に比べるとずいぶんよい環境で学校生活が送れている。環境の充実は、学習の向上にもつながると思う。 今後も、適切な会計業務と備品の管理をお願いしたい。	確実な定期的な点検はもちろん、必要に応じた大規模改修も依頼し、安全な環境を守る。 適切な会計業務と備品の管理を徹底する。また、管理職で確実にチェックを行う。